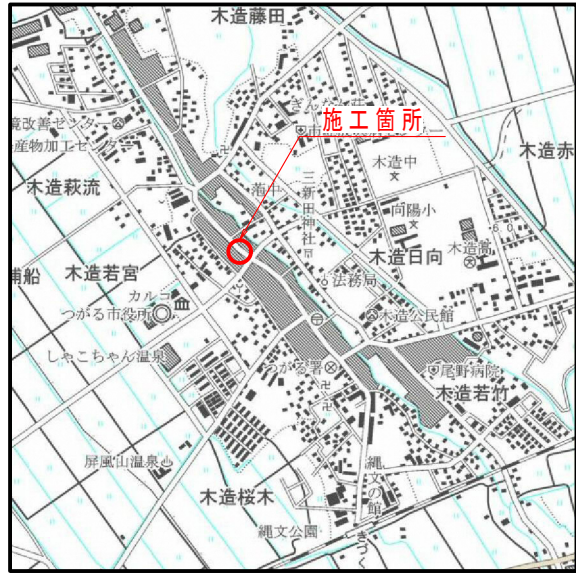


旧S1-03(旧町内-有楽町)

$S = 1 : 25,000$



設計条件及び留意事項

設計基礎条件

消火栓は、単口非回転型とし、地上高さを短管で30cm程度以上確保すること。

水 道 管 : DIP ϕ 200 (220) DP (埋設深さ) = 1000 既設バルブ有

※旧水道管ACPが埋めこられている、管経路は不明であるが

側溝側部付近でNTT埋設管と同じ高さと推定される。

水道企業団より、クリアランス30cmを気にせず露出を控え施工ならば

問題ないとのこと。施工時に留意すること。

下水道管：支障なし

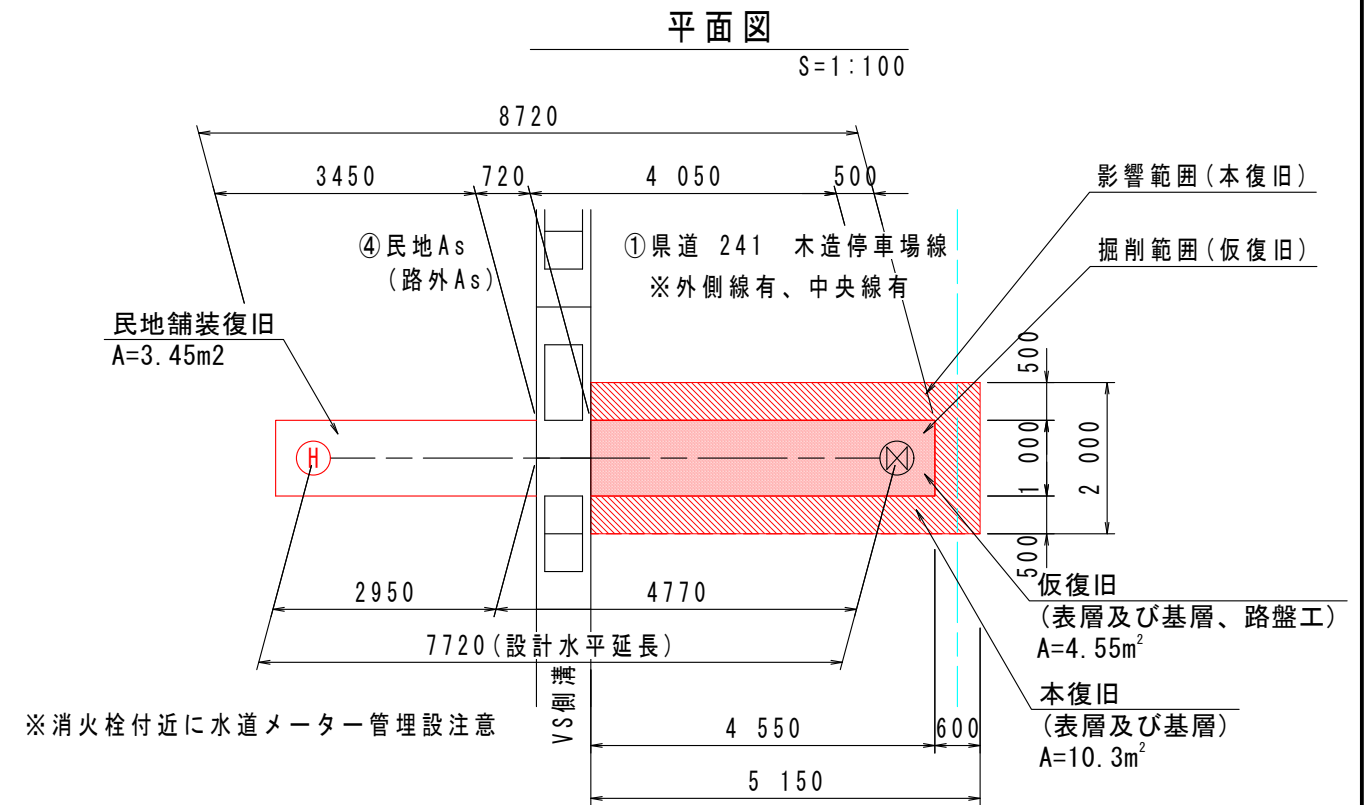
NTT管：2条3段 DP(埋設深さ)=1300

舗装復旧：車道部（①県道241 木造停車場線）、民地（④AS舗装）

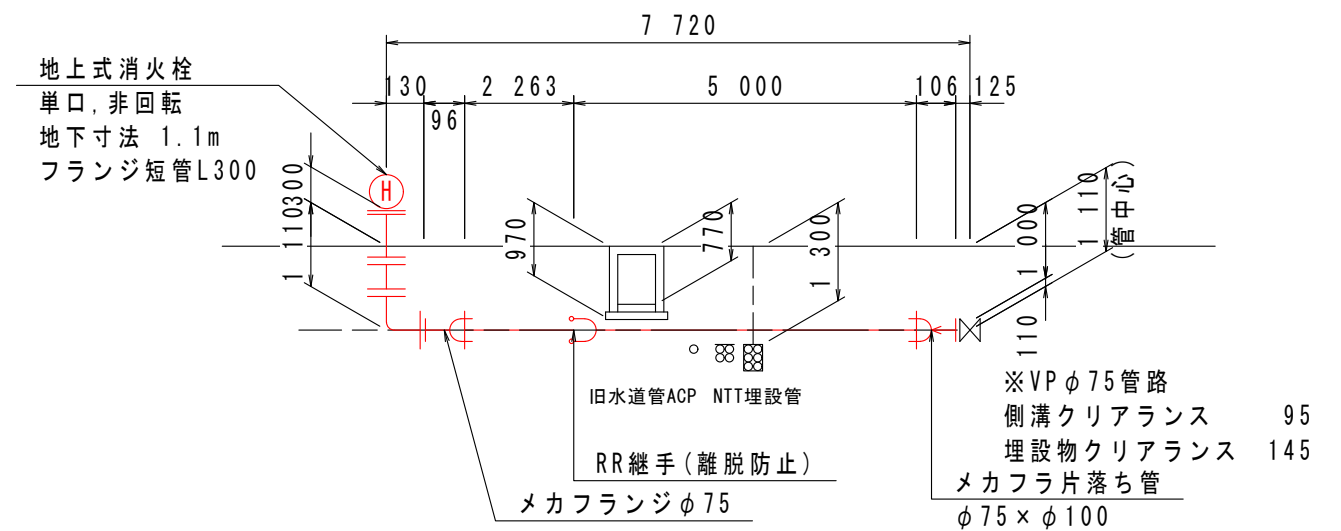
設計寸法条件

管路中心線高さを $DP1000+(220)/2=1110$ とする。

撤去管は、双口条件である $\phi 100$ とした。



断面図



旧 S 2-01 (旧町内-千代町)

S = 1 : 25,000



設計条件及び留意事項

設計基礎条件

消火栓は、単口非回転型とし、地上高さを短管で30cm程度以上確保すること。

水 道 管 : DIP ϕ 200 (220) DP (埋設深さ) = 1000 既設バルブ有

※旧水道管ACPが埋めこりしされている、管経路は不明であるが

側溝側部付近でNTT埋設管と同じ高さと推定される。

水道企業団より、クリアランス30cmを気にせず露出を控え施工ならば

問題ないとのこと。施工時に留意すること。

下水道管：支障なし

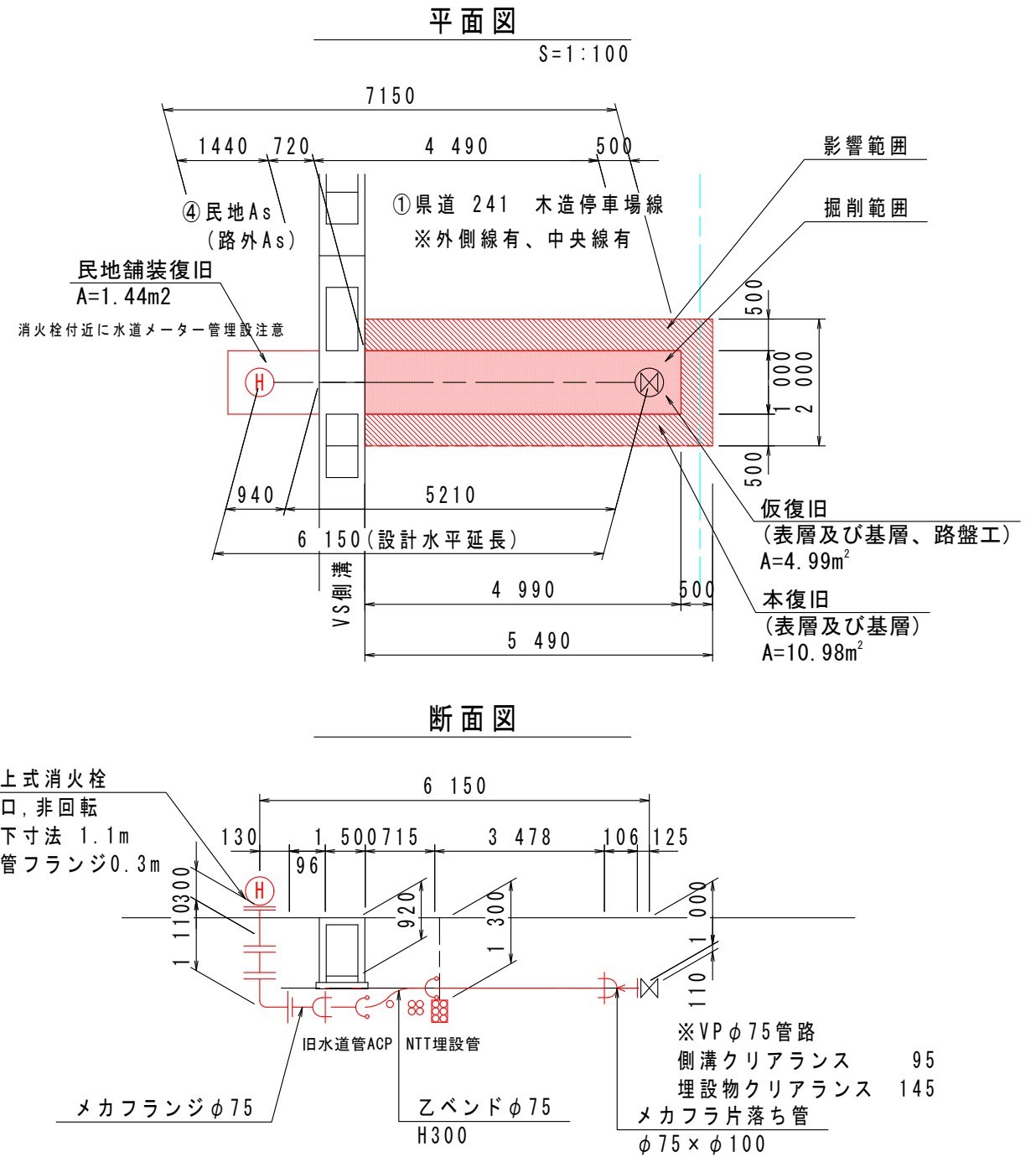
NTT管：2条3段 DP(埋設深さ)=1300

舗装復旧：車道部（①県道241 木造停車場線）、民地（④AS舗装）

設計寸法条件

管路中心線高さを $DP1000 + (220) / 2 = 1110$ とする。

撤去管は、双口条件である $\phi 100$ とした。



旧S5-06(旧町内-松上町)

S = 1 : 25,000



設計条件及び留意事項

設計基礎条件

消火栓は、単口非回転型とし、地上高さを短管で30cm程度以上確保すること。

水 道 管 : DIP ϕ 100 (120) DP (埋設深さ) = 800 既設バルブ有

下水道管：支障なし

NTT管：2条2段 DP(埋設深さ)=1300 路線反対に埋設、支障なし。

舖裝復旧：車道部（③市道）、步道（②步道）

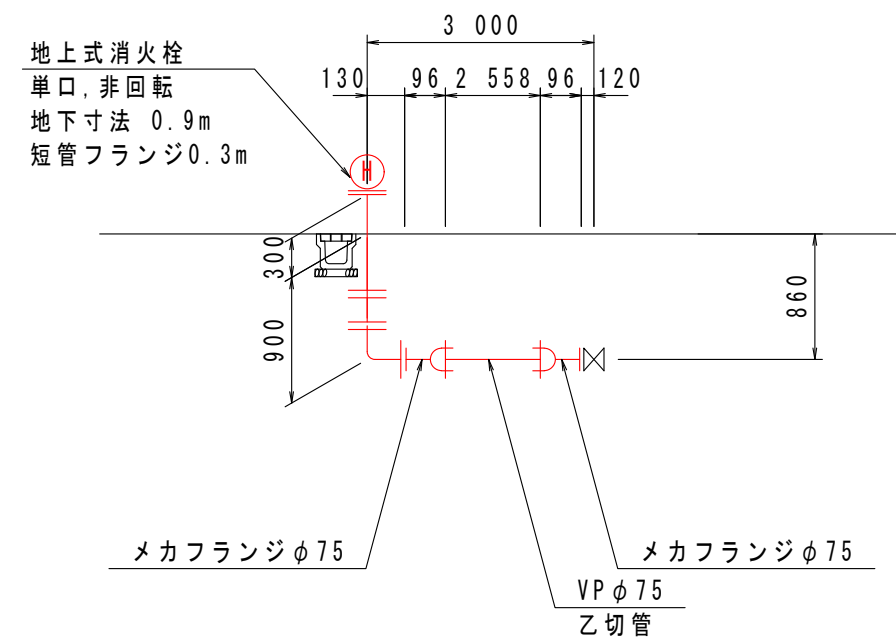
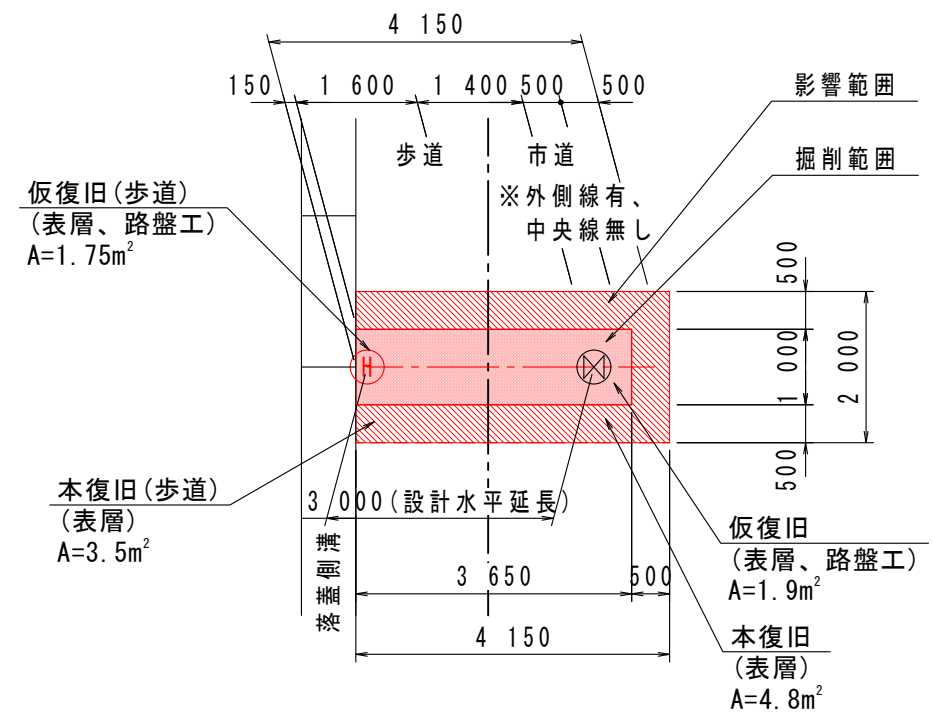
設計寸法条件

管路中心線高さを $DP800+(120)/2=860$ とする。

撤去管は、単口条件である $\phi 75$ とした。

平面图

S = 1 : 100



旧S11-01(旧町内-横町)

S = 1 : 25,000



設計条件及び留意事項

設計基礎条件

消火栓は、単口非回転型とし、地上高さを短管で30cm程度以上確保すること。

水 道 管 : CIP ϕ 200 DP(埋設深さ)=1200~1500 既設バルブ有

下水道管：支障なし

NTT管：路線反対に埋設、支障なし。

舗装復旧：車道部（①県道 115 川除木造線）

設計寸法条件

既設バルブからとし、埋設深さは消火栓記載の1.0mとした。

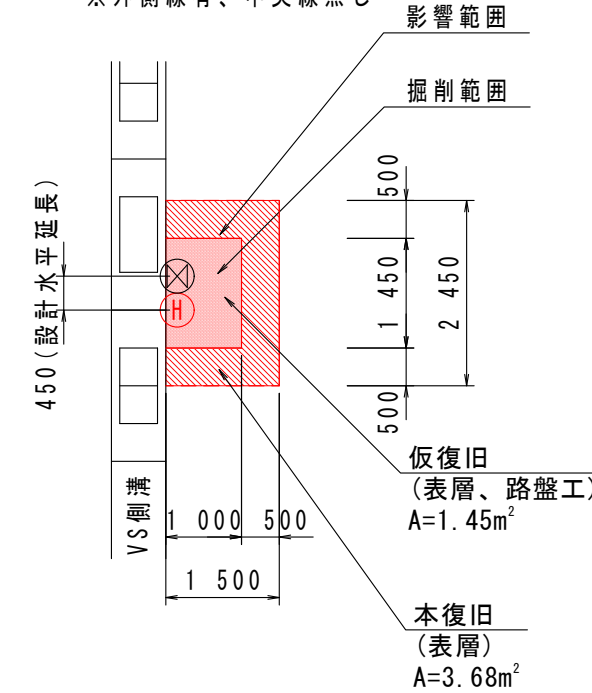
撤去管は、単口条件である $\phi 75$ とした。

平面图

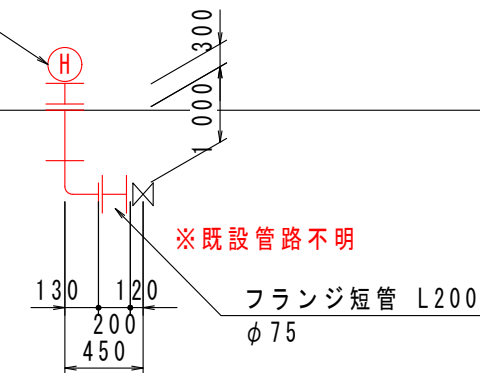
$$S = 1 : 100$$

①県道 114 川除木造線

※外側線有、中央線無し



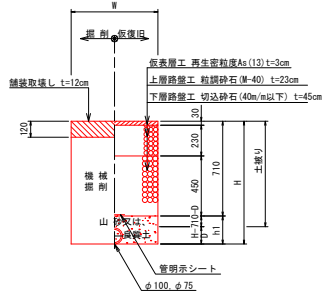
地上式消火栓
単口，非回転
地下寸法 1.0m
フランジ短管L300



土 工 標 準 図

① 県道舗装道 241 木造停車場線

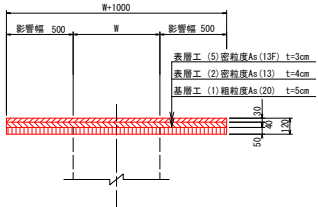
掘削 仮復旧



寸法表

掘削断面	管種・口径	D	W
	DIPφ100	120	1 000
	DIPφ75	90	1 000

本 復 旧

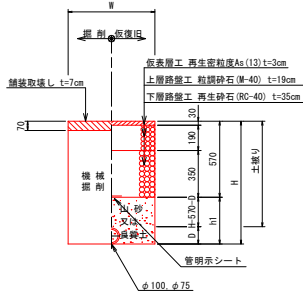


現況舗装構成

表層工：(5) 密粒度As (13F)	t=3cm
表層工：(2) 密粒度As (13)	t=4cm
基層工：(1) 粗粒度As (20)	t=5cm
上層路盤工：粒調砕石 (W-40)	t=14cm
下層路盤工：切込砕石 (40m/m以下)	t=45cm
置換層：路盤用砂	t=50cm

① 県道舗装道 187 越水木造線

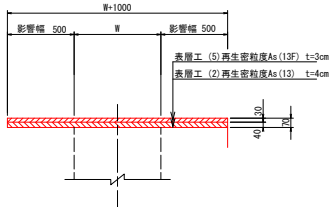
掘削 仮復旧



寸法表

掘削断面	管種・口径	D	W
	DIPφ100	120	1 000
	DIPφ75	90	1 000

本 復 旧

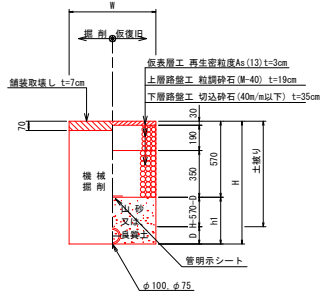


現況舗装構成

表層工：(5) 再生密粒度As (13F)	t=3cm
表層工：(2) 再生密粒度As (13)	t=4cm
上層路盤工：粒調砕石 (W-40)	t=15cm
下層路盤工：再生砕石 (RC-40)	t=35cm
	Σ t=57cm

① 県道舗装道 115 川除木造線

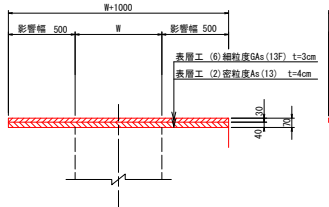
掘削 仮復旧



寸法表

掘削断面	管種・口径	D	W
	DIPφ100	120	1 000
	DIPφ75	90	1 000

本 復 旧

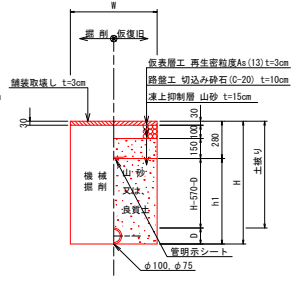


現況舗装構成

表層工：(6) 細粒度6As (13F)	t=3cm
表層工：(2) 密粒度As (13)	t=4cm
上層路盤工：粒調砕石 (W-40)	t=15cm
下層路盤工：切込砕石 (40m/m以下)	t=35cm
	Σ t=57cm

② 歩 道

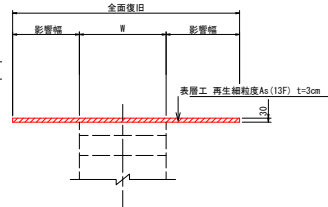
掘削 仮復旧



寸法表

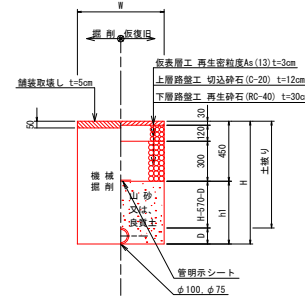
掘削断面	管種・口径	D	W
	DIPφ100	120	1 000
	DIPφ75	90	1 000

本 復 旧



③ 1級市道

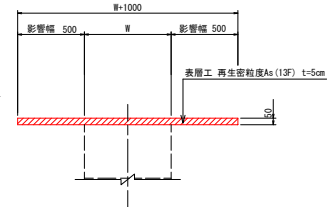
掘削 仮復旧



寸法表

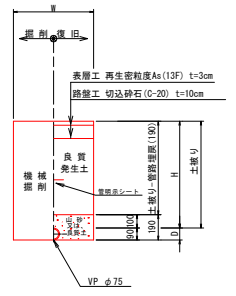
掘削断面	管種・口径	D	W
	DIPφ100	120	1 000
	DIPφ75	90	1 000

本 復 旧



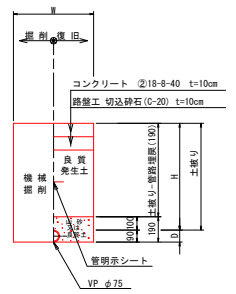
④ 路外AS

掘削 復旧



⑤ 路外C0

掘削 復旧



⑥ 路外土砂

掘削 復旧

